

千葉市感染症発生動向調査情報

2020年 第31週 (7/27-8/2) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		31週	30週	29週	28週
上段: 患者数 下段: 定点当たりの患者数	小児科	17	18	18	18
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	27	28	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県
		注意報	7/27-8/2	7/20-7/26	7/13-7/19	7/6-7/12	7/20-7/26
			31週	30週	29週	28週	30週
小児科	RSウイルス感染症		0	0	0	0	0
	咽頭結膜熱		1	1	0	0	8
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	6	3	4	149
	感染性胃腸炎		32	27	44	36	152
	水痘		1	0	4	4	10
	手足口病		1	1	0	0	9
	伝染性紅斑		1	0	0	0	0
	突発性発しん		10	15	17	20	60
	ヘルパンギーナ		0	1	0	1	3
	流行性耳下腺炎		3	1	0	0	12
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎		0	0	1	1	5
			0.00	0.00	0.20	0.20	0.15
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	1
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.11
	マイコプラズマ肺炎		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	0	0	0
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

★★: 流行中 ★: やや流行中 ◎: 増加 ○: やや増加 →: 変化なし ↓: やや減少 ↓↓: 減少

2 全数報告対象疾患(53件)

※新型コロナウイルス感染症46件は数のみ

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	50歳代	病原体等の検出	腸管出血性大腸菌感染症	女性	20歳代	病原体の分離・同定及びベロ毒素の確認
結核	男性	60歳代	IGRA検査等				
結核	男性	80歳代	病原体遺伝子の検出等	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	女性	60歳代	病原体の分離・同定薬剤耐性の確認及び起病菌の判定
結核	女性	80歳代	病原体遺伝子の検出等				
水痘(入院例)	男性	20歳代	病原体抗原の検出	新型コロナウイルス感染症	男女	0歳代~80歳代	病原体遺伝子の検出等

・第31週は、結核4件(88)腸管出血性大腸菌感染症1件(9)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(10)、水痘(入院例)1件(1)、新型コロナウイルス感染症46件(263)の発生届があった。

※ ()内は2020年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第31週のコメント

過去10年の同時期と比べると、全て平均未満となっている。

<トピック>

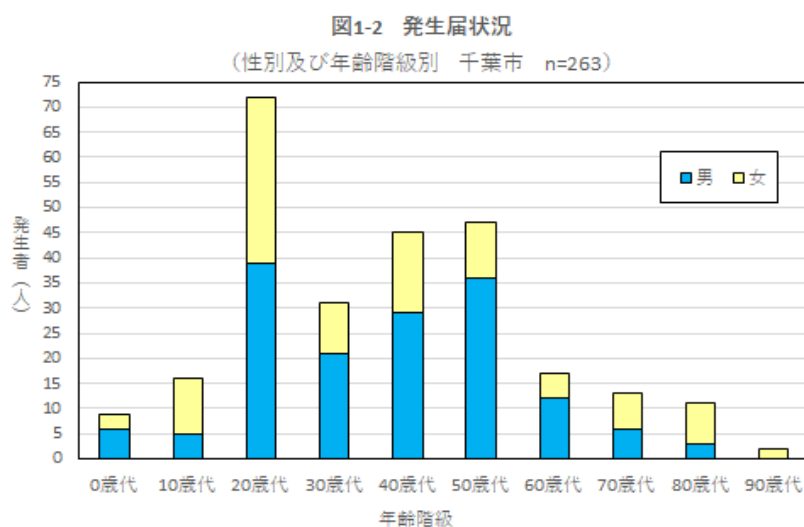
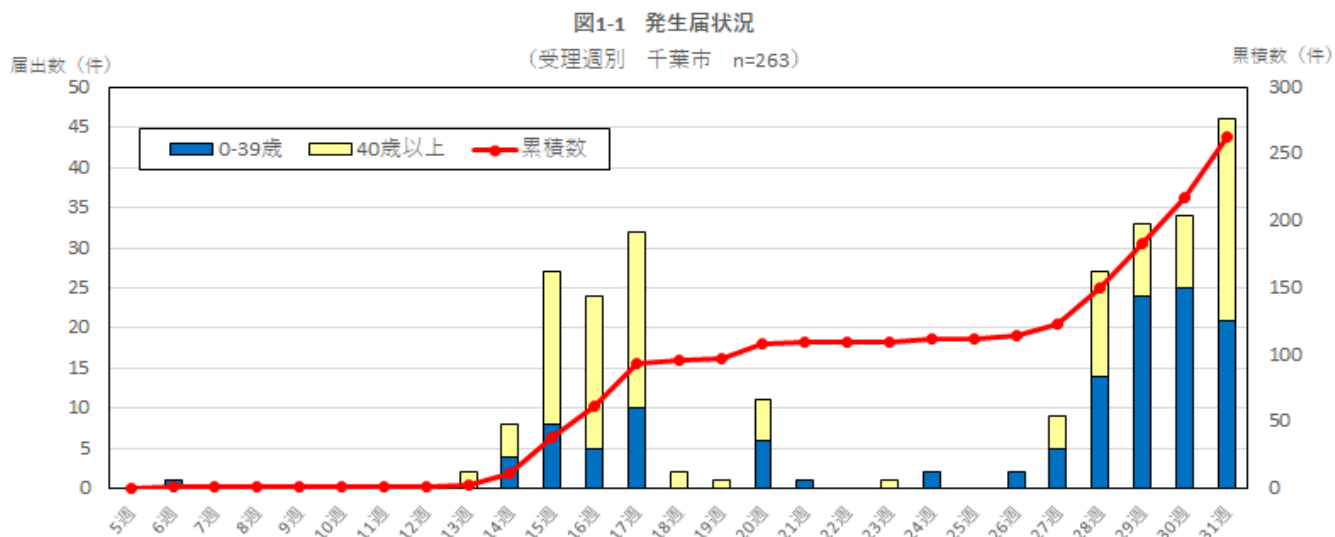
<新型コロナウイルス感染症>

・発生届

第31週は前週よりさらに増加し、これまでで最も多い46件となり、合計は263件となりました。世代別では、40歳以上の占める割合が3割未満から大幅に増加し、40歳未満が45.7%（21名）、40歳以上が54.3%（25名）と40歳代以上が半数を上回りました（図1-1）。

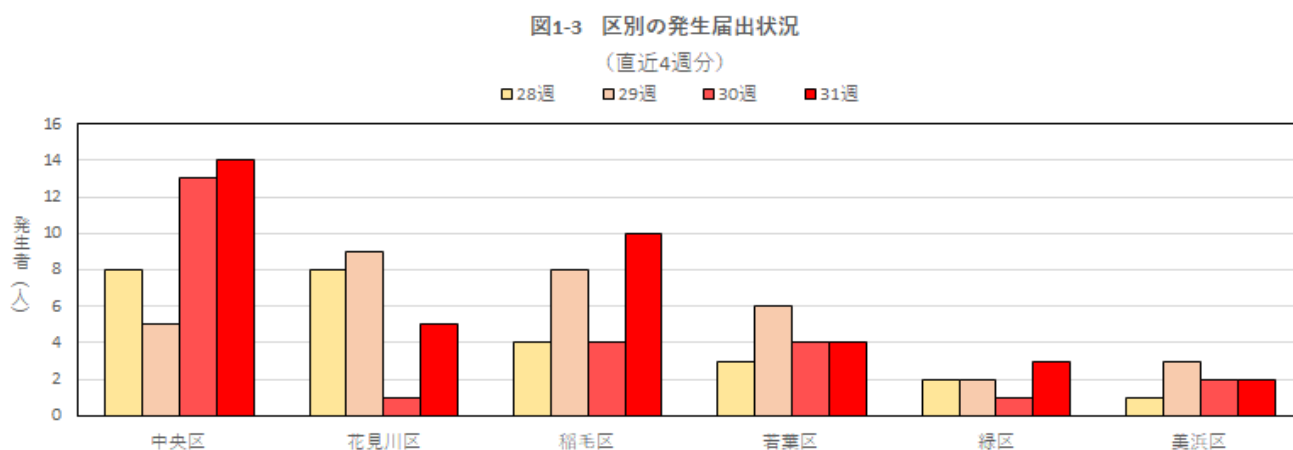
263件のうち、性別は男性157件（59.7%）、女性106件（40.3%）で男性が多く、中央年齢値は全体で41.0歳、男性で43.0歳、女性で35.0歳となっており、年齢階級別では20歳代（27.4%：72名）、50歳代（17.9%：47名）、40歳代（17.1%：45名）の順で多くなっています（図1-2及び表1）。

区別の届出件数では、前週と比べると中央区、花見川区、稲毛区及び緑区で増加し、若葉区及び美浜区は同数となっています（図1-3）。



中央値	43.0	35.0	41.0	
	男	女	計	
0歳代	6	3	9	3.4%
10歳代	5	11	16	6.1%
20歳代	39	33	72	27.4%
30歳代	21	10	31	11.8%
40歳代	29	16	45	17.1%
50歳代	36	11	47	17.9%
60歳代	12	5	17	6.5%
70歳代	6	7	13	4.9%
80歳代	3	8	11	4.2%
90歳代	0	2	2	0.8%
計	157	106	263	100%
	59.7%	40.3%	100%	

表1 性別及び年齢階級別
(全期間：第5週～第31週)



・ウイルス検査

千葉市環境保健研究所では、2020年第31週(2020年8月2日時点)までに6921例(検体数7114)について新型コロナウイルス感染症の検査を実施しました。搬入された市中感染・輸入例疑い事例は6659例(うち陰性化確認等260例)となっており、この他クルーズ船関連事例191例(うち陰性化確認126例)、その他陰性化確認等69例の検査を実施しました。

陰性化確認等260例を除いた市中感染・輸入例疑い事例6399例(検体数65415)については、陽性は253例(陽性率：4.0%)でした(図2-1)。陽性率について、年齢階級別では20歳代(5.8%)、50歳代(5.2%)、40歳代(4.4%)の順で多くなっています(図2-2及び表2-1)。

また、過去4週間の陽性率の推移を世代別に見ると、第29週以降40歳代未満は減少している一方で、40歳代以上は増加しています(図2-3及び表2-2)。

図2-1 新型コロナウイルス感染症市中疑い事例PCR検査状況

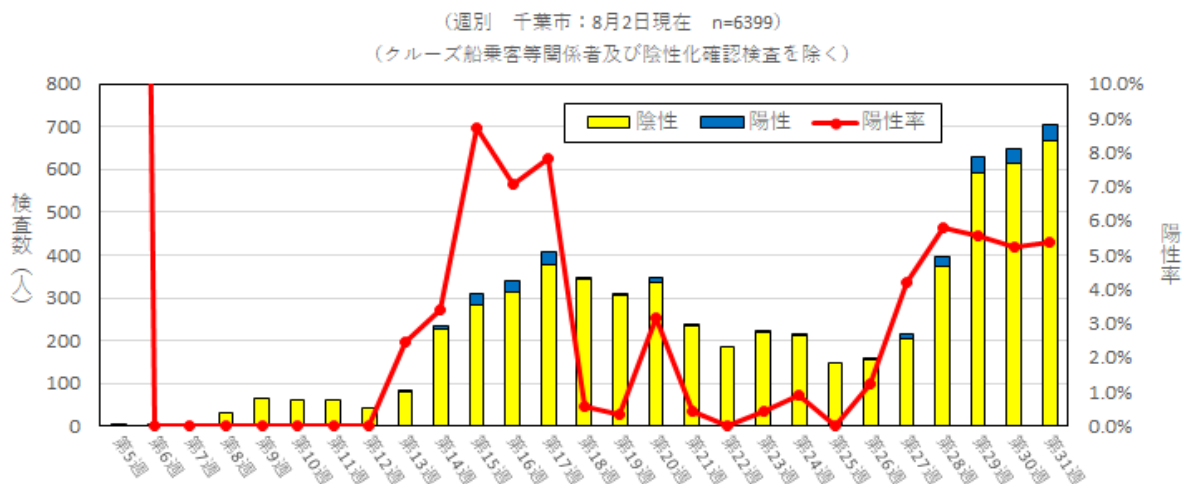
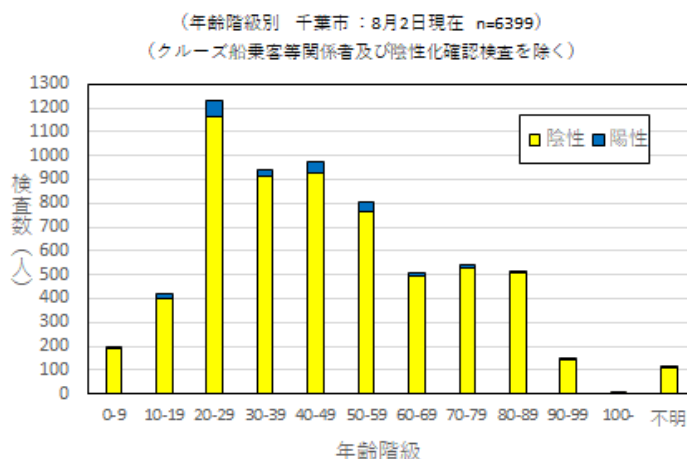


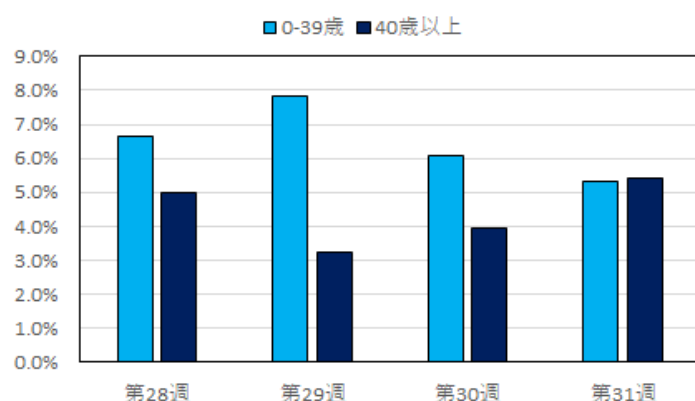
図2-2 新型コロナウイルス感染症市中感染疑い事例
PCR検査状況



年齢階級	陽性	陰性	計	陽性率
0-9	8	187	195	4.1%
10-19	15	403	418	3.6%
20-29	71	1160	1231	5.8%
30-39	31	912	943	3.3%
40-49	43	929	972	4.4%
50-59	42	765	807	5.2%
60-69	16	494	510	3.1%
70-79	14	526	540	2.6%
80-89	10	505	515	1.9%
90-99	2	145	147	1.4%
100-	0	8	8	0.0%
不明	1	112	113	0.9%
計	253	6146	6399	4.0%

表2-1 年齢階級別の検査状況

図2-3 検査陽性率の推移
(過去4週分：世代別)



検査数				
	第28週	第29週	第30週	第31週
0-39歳	195	320	395	356
40歳以上	201	308	253	350
計	396	628	648	706
陽性者数				
	第28週	第29週	第30週	第31週
0-39歳	13	25	24	19
40歳以上	10	10	10	19
計	23	35	34	38
検査陽性率				
	第28週	第29週	第30週	第31週
0-39歳	6.7%	7.8%	6.1%	5.3%
40歳以上	5.0%	3.2%	4.0%	5.4%
計	5.8%	5.6%	5.2%	5.4%

表2-2 世代別の検査状況の推移
(過去4週分)